

令和2年9月の労働市場の動き

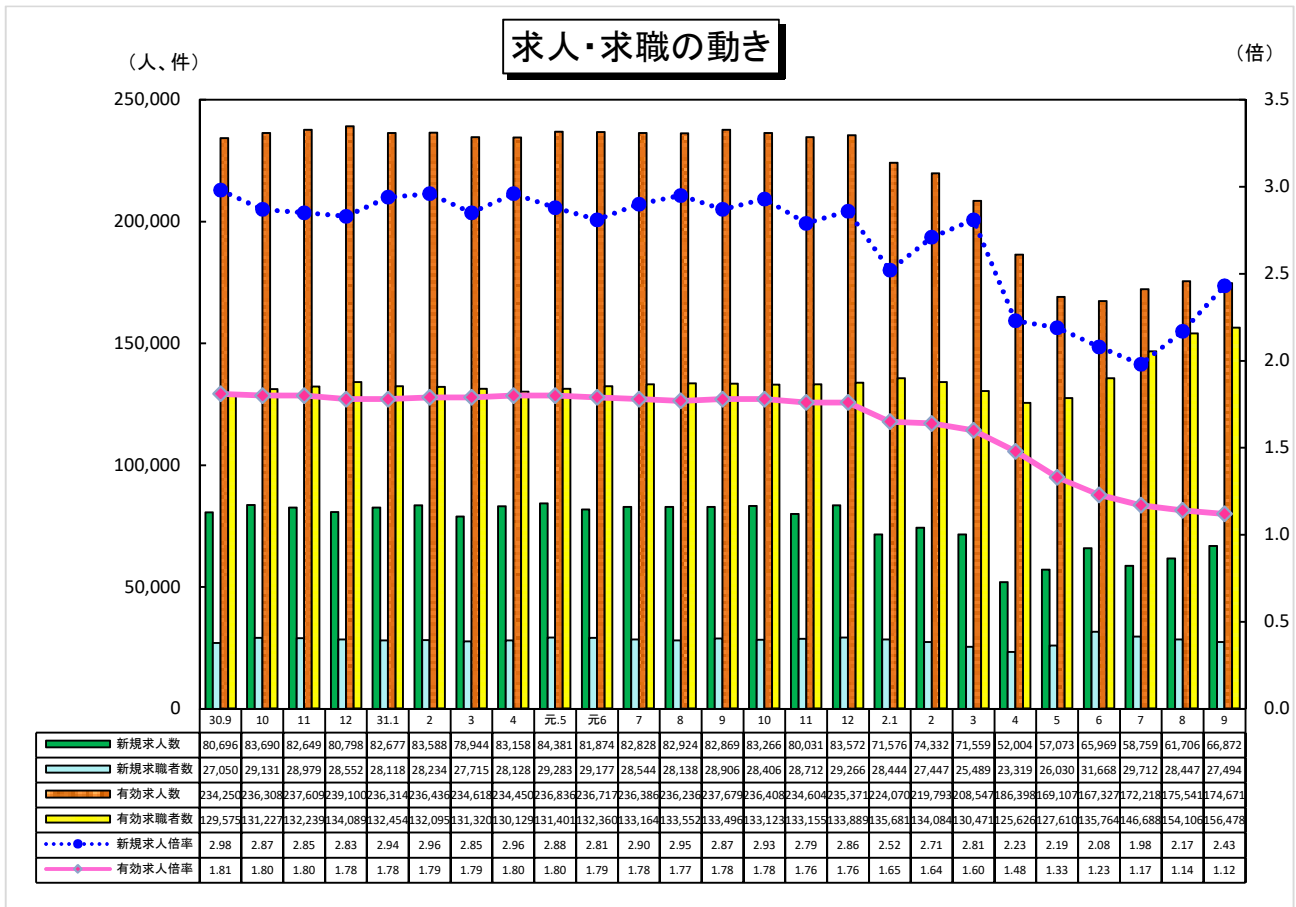
(求人倍率)

- 大阪府の令和2年9月の有効求人倍率(季節調整値)は1.12倍となり、前月より0.02ポイントの低下となった。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.43倍となり、前月より0.26ポイント上昇した。

【参考】 就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は0.93倍となり、前月より0.02ポイント低下し、3か月連続で1倍を下回った。

(求人・求職の動き)

- 9月の新規求人数(季節調整値)は前月比8.4%増となり、有効求人数(同)は前月比0.5%減となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比3.4%減となり、有効求職者数(同)は前月比1.5%増となった。
- 9月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると16.3%減となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比26.7%増)、製造業(同24.7%減)、情報通信業(同32.8%減)、運輸業、郵便業(同26.6%減)、卸売業、小売業(同31.9%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同28.4%減)、宿泊業、飲食サービス業(同30.0%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同16.3%減)、教育、学習支援業(同22.2%減)、医療、福祉(同4.1%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同26.2%減)と3か月ぶりに増加した建設業を除いて、他の産業では減少となった。



(注) 各月の数値は季節調整値。R2.2季節調整替。